

チラーユニット用 オプション 「exiida遠隔監視通信ユニット(HC-ARMSC)」 Optional exiida Remote Monitoring Communication Unit for Chiller Units (HC-ARMSC)

空調IoTソリューション「exiida遠隔監視・予兆診断」で使用する
「exiida遠隔監視通信ユニット^{※1}」を
チラーユニットの内部に取付可能です

"exiida Remote Monitoring Communication Unit^{※1}" can be installed into chiller unit
for IoT solutions "exiida Remote Monitoring / Predictive Diagnosis".

※1. exiida遠隔監視通信ユニットとは、アダプター・LTEルーター・アンテナなどの一式を指します。
※1. "exiida Remote Monitoring Communication Unit" refers to the complete set including the adapter, LTE router, antenna etc.

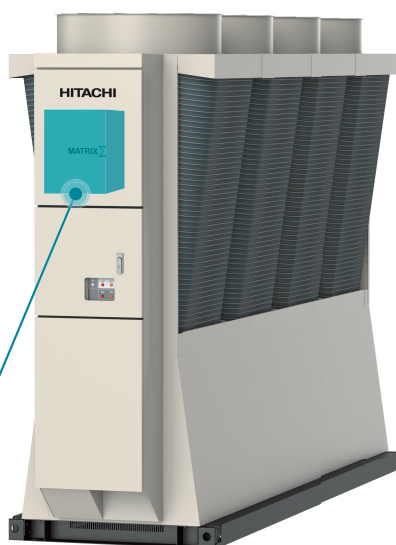


exiida遠隔監視通信ユニット
HC-ARMSC^{※2}



イメージ図

※2.HC-ARMSCは、現地での取付工事、電源配線工事、H-LINK配線工事などが必要です。作業内容の詳細は、技術資料(exiida遠隔監視通信ユニット据付点検要領書)をご確認ください。



■exiida遠隔監視通信ユニット型式:HC-ARMSC 機内設置適用チラーユニット

○：機内設置可、－：機内設置不可

			ポンプレス仕様	ポンプ搭載仕様
マトリクスシグマ(R32)	空冷ヒートポンプ式／空冷式冷凍	中容量タイプ(75kW～100kW)	○	－
		標準設置タイプ(118kW～200kW)	○	－
		リニューアル設置タイプ(118kW～200kW)	○	－
マトリクスアドバンス(R1234yf)	空冷式冷凍	連続制御(125kW～180kW)	○	○
		連続制御(250kW～375kW)	－	－
マトリクスシグマ(R32)	ブライン仕様空冷式冷凍(低温用)	標準設置タイプ(118kW～200kW)	○	－
		リニューアル設置タイプ(118kW～200kW)	○	－

(注).1 HC-ARMSCを上記「○」以外のチラーユニットの機内に設置することはできません。

(注).2 HC-ARMSCをチラーユニット機内に設置する場合、チラーユニットの電気品箱の指定した位置以外へは設置しないでください。

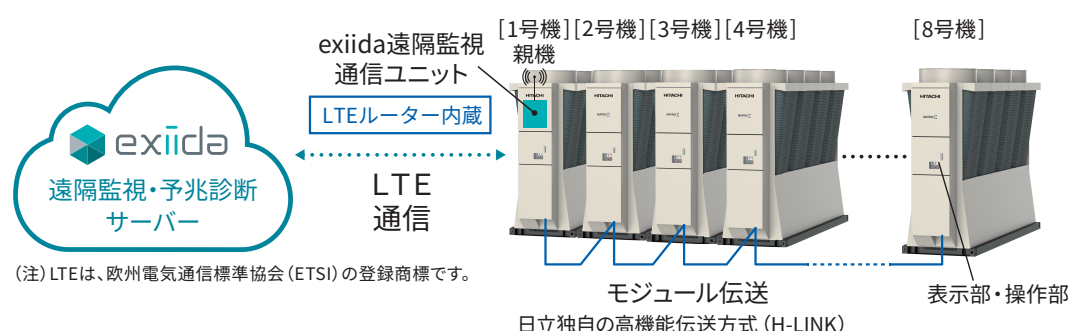
■標準仕様表

項目		仕様
オプション(別売品) 型式	－	HC-ARMSC
相数	－	単相2線式
定格電圧・周波数	－	200V 50/60Hz(チラーユニットから給電)
外装色(マンセル記号)	－	ナチュラルグレー(1.0Y 8.5/0.5)
外形寸法(幅×奥行×高さ)	mm	258×420×80
製品質量	kg	1.8
据付条件(設置場所)	－	チラーユニット電気品箱内など、据付点検要領書に記載の指定位置

1グループ最大8台まで監視可能

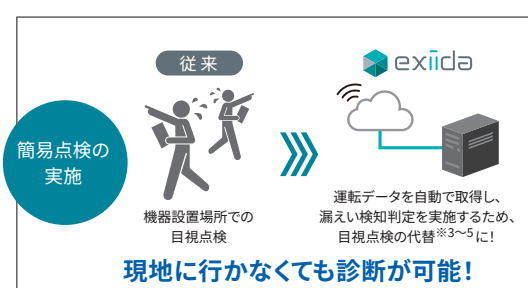
■製品の特長

- 専用設置スペースが不要です。
(チラーユニット内に取り付け可能)
- 専用電源不要です。(チラーユニットから給電可能)
- グループ内のチラーユニット1台に、通信ユニット1台を内蔵すれば、最大8台まで監視可能です。
- 本製品は、LTEルーター内蔵です。



フロン排出抑制法の簡易点検を代替^{※3}※4※5

2022年8月フロン排出抑制法の改正に伴い、従来必要だった3か月に一度の目視による簡易点検を、exiida遠隔監視・予兆診断の常時監視で代替できるようになりました。これにより管理者の点検作業の負担軽減に貢献します。



※3 フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律(平成十三年法律第六十四号)第十六条第一項を一部改正。

※4 「exiida遠隔監視・予兆診断」のご契約(有償)が別途必要です。

※5 中間期など機器の稼働が減少すると漏えい検知判定ができない場合もあります。その場合は現地への人員派遣・目視点検が必要となります。(事前に通知いたします)

※6 ご契約者さまが利用可能な当社「フロン排出抑制法管理システム」上で点検実施の記録・保存が可能です。